



不味公
二〇〇年祭

和美×茶美
春・夏

不味菓

FUMAIIKA

不味公二〇〇年祭・記念菓子

「販売期間」平成三〇年四月一日〜平成三〇年八月三十一日

不味公没後二百年を迎え、公ゆかりの
茶花、和歌、歴史などを参考に
茶の湯に融合させる現代の創作菓子を
伝統の技と厳選した素材、そして新たな
視点から各店が提案します。不味公の遺徳を偲びながら
茶の湯文化の継承と、さらなる進歩を願いつつ
「不味菓」として発信してまいります。
今回の松江市内七社の和菓子処による「春夏・不味菓」
続編の「秋冬・不味菓」の創作にもご期待ください。

おひとつ 270円
(本体価格 250円)



① 御山池 おやまいけ【一力堂】 練り切り

松江藩松平家二代綱隆によって別荘が設けられた楽山は、廃藩後は行楽の場として「お山」の名で市民に親しまれた。中ほどにある弁天池は御山池という名が残っているが、池畔に弁財天が祀られていることからその名で呼ばれるようになった。春は桜、夏は「睡蓮」、秋は紅葉、冬は雪景色と四季折々の美しさがある。古の御山池の水面に揺れる水紋、緩やかに泳ぐ小魚の姿を写した創作菓である。



② 山椒餅 さんしょもち【桂月堂】 餅菓子

不味公の茶会記録に「山椒餅」を用いた記録が残されている。出雲地方で栽培された歴史は古く、出雲國風土記(七三三年)にも記載があり、当時は薬草として珍重されていたという。そんな刺激のある、痺れを伴う山椒を餅に練り込み、茶会で供されたとは、なんとも風流な趣向である。そんな当時に思いを馳せ、今も奥出雲で栽培されている山椒を取り寄せ、菓子としてここに再現した。



③ 舟つきの松 ふなつきのまつ【彩雲堂】 練り切り

不味公の正室・彰姫が仙台・伊達藩から嫁がれた際、持参して植えたといわれる松。歴代藩主が郊外の別荘に出掛けられる折、この松を目印に舟を繋いだことから「舟つきの松」と呼ばれ、長く松江市民に愛された。平成二十一年、惜しまれつつ伐採され、現在はその姿を見ることはできない。不味公二〇〇年祭にちなみ、この松を和菓子として復刻した。



④ 出雲なんきん いずもなんきん【三英堂】 淡雪

「出雲なんきん」は不味公が愛玩した金魚として語り継がれています。清楚で美しく、上品で奥ゆかしい姿に自らも天井に硝子を張り、月光で眺めたと伝えられています。また、将軍家への「時献上」として松江藩の「大庭梨子」が献上されていたと記録されています。不味公が愛でた「出雲なんきん」に想を得て、淡雪に梨の風味を添えて春夏らしい爽やかな和菓子を創作いたしました。



⑤ 大亀と紫陽花 おおがめとあじさい【福田屋】 練り切り

松江城にほど近い月照寺は歴代松江藩松平家の菩提寺。山門正面にある飾り葡萄の透かし彫りが見事な不味公の廟門は名工「小林如泥」の作。境内に大きな亀の背にのった石碑は六代藩主宗行の寿蔵碑。この大亀は夜ごと城下へ出かけたという伝説がある。また、境内には紫陽花がところ狭しと咲き誇り「山陰の紫陽花寺」ともいわれる。不味公ゆかりの月照寺の大亀と紫陽花を創作菓とした。



⑥ 薄霞 うすがすみ【風流堂】 練り切り

不味公の隠退後の茶会記(安永四年〜文化十四年)の中に当時、薄霞が「六種の不味公好み」の一つと称されている。「春なれや名もなき山の薄霞」芭蕉の句にも表されている薄霞がうっすらと棚引き、春はもうすぐそこまで…そんな春待ちの想を一刷毛、霞を水彩画のように練り切りの淡い五色で表現した。



⑦ ヤブ椿 やぶつばき【豊月堂】 練り切り

城山公園には赤、ピンク、白など様々な色のヤブ椿がある。不味公など椿の好きな藩主が参勤交代時に江戸や京都から苗を持ち帰り、「椿谷」に植えたことから多様な品種が生まれたといわれている。茶人の間の侘び寂びの世界で独特の進化を遂げてきた椿は、茶花の女王の異名を持つ日本を代表する花であり、松江市の市花でもある。不味公と共に、親しまれているヤブ椿を創作菓とした。

① 創業270年、松平不味公の御用達 菓子司



松江 御菓子司
一力堂
島根県松江市末次本町53 TEL 0852-28-5300
営業時間 9:30~18:30 定休日 元日のみ
<http://www.ichirikido.jp/>

② 創業文化6年(1809年)の松江の老舗菓子舗



創業文化6年
出雲国松江・菓子老舗
桂自堂
島根県松江市天神町97 TEL 0852-21-2622
営業時間 9:00~19:00 定休日 元日のみ
(冬季は18:00)
<http://www.keigetsudo.jp/>

③ 創業明治7年、茶処松江の菓子老舗



御菓子司
彩雲堂
島根県松江市天神町124 TEL 0852-21-2727
営業時間 9:00~18:00 定休日 元日のみ
<http://www.saiundo.co.jp>

④ 昭和4年創業、不味公三大銘菓が唯一揃う老舗菓子司



松江茶菓一會
三英堂
島根県松江市寺町47 TEL 0852-31-0122
営業時間 9:00~18:00 定休日 元日のみ
<http://www.saneido.jp>

⑤ 創業大正2年、松江銘菓柚餅子本舗



銘菓 柚餅子 本舗
福田屋
島根県松江市中原町159 TEL 0852-27-4888
営業時間 8:00~19:00 定休日 年中無休
<http://www.matsue-fukudaya.com>

⑥ 松江の代表銘菓「山川」「朝汐」の本舗です。



山川・朝汐本舗
風流堂
島根県松江市寺町151 TEL 0852-21-3241
営業時間 9:00~19:00 定休日 元日のみ
(日祝・1月・2月は18:00)
<http://www.furyudo.jp/>

⑦ 昭和4年創業、城下町・松江の和菓子処です。



豊月堂
島根県松江市横浜町66-1 TEL 0852-21-3795
営業時間 月~土 8:00~18:30 定休日 元日
日曜日 8:30~12:00

松平不味公

不味公(一七五〇~一八一八)は江戸赤坂に生まれ、元服の際に將軍家治から一字授かり治好と称し、その後明和四年十七歳で松江藩松平家七代藩主となり出羽守治郷と称した。



不味公は藩主として治世にあたるとともに、文化を愛し、とりわけ茶の湯に執心し、茶人として茶道界に大きな足跡を残しています。



茶杓 銘「うの花」松平不味作(松江歴史館蔵)

松江藩の中興の祖として名高い七代目、松平治郷は当時財政難であった松江藩を後世「御立派の改革」と呼ばれる財政再建策を進め、立て直しました。一方、若年の頃から学んだ茶の湯や禅をもとに石州流を基本としながらも、自らの茶道観により一家をなしました。後半には、大名家からの茶器の散逸を危惧し名器名物等収集、更に調査記録し、茶道具の保護と継承に努めました。それらは「雲州蔵帳」に記載されて宝物、大名物、中興名物などに分類され、現代でも茶の湯や美術愛好家から高い評価を受け続けています。また、藩内でも積極的に美術振興を図り陶芸、漆工芸、木工芸の分野でも多くの名工を育てました。不味公の確かな審美眼による「ワビ、サビ」の基準は、近代の茶人にとっても一つの指標とされ、没後二百年を経た現在も日本茶道史上に輝き続けています。

不味菓 PUMAIKA

ご案内マップ

不味菓は下記の7店でお求めいただけます。

① 一力堂 ② 桂月堂 ③ 彩雲堂 ④ 三英堂
⑤ 福田屋 ⑥ 風流堂 ⑦ 豊月堂

※島根県物産観光館では全ての不味菓を取り扱っています。